

松本市市民活動

サポートセンター通信

NO.18



発行：松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所 2 階
TEL/FAX：0263-888-2988
E-mail：support-center@support-center.jp
URL：http://www.support-center.jp

市民フォーラム「協働を学ぼう！語ろう！」を開催して…

10月18日(土)Mウィングにおいて、市民フォーラム「協働を学ぼう！語ろう！」が開かれました。市民と行政の「協働のまちづくり」への理解と実現に向け本音で語り合い、一歩前進したいという願いを込めて、松本市市民活動推進委員会が市と協働で開催したものです。

開会の後、4分科会(①環境・まちづくり②地域福祉・子育て支援③国際交流・多文化共生④青少年健全育成・若者就労)での意見交流をしました。

私の参加した分科会①では、市民と行政との協働の意識の差、市民のがんばりに行政の支援がない、小学校統合や松本のまちづくりで市民の声は生かされたのか、協働のよさが実感できない、などと市民の抱く問題点が数多く出されました。

「協働」への意識として、何かやりたければ市民も本気で一生懸命やる、楽しみながら実績を積む姿勢でと前向きな発言も出ました。

市民の側にも「協働」することについて自らの活動のあり方を考え、お互いの立場を信頼し理解しあ

える姿勢も大切だと感じました。

まとめの全体会では「グランドワーク三島における協働について」と題して事務局長の渡辺豊博氏の報告があり「協働」とは市民・行政・企業+NPOによって成り立ち、三者の特性を理解しうるまとめ役がいて、対等のパートナーシップを組み、共存共栄になる事業を成すことであると話されました。

まちづくりとは「まちの宝物は何？」を全体で共有し市民が小さくてもアクションを起こすことの大切さ(指向の連鎖が生まれること)を学びました。

これを活かして、次のステップにつながることを期待したいと思います。



パネルディスカッションのようす

(市民活動推進委員 村上さよ子)

♪ お困りごと解決講座 ♪ 終了！

— 市民活動団体の資金マネジメントと助成金 —



去る11月1日(土)当センターで、国内有数の助成組織である日本財団の荻上健太郎氏を講師に迎え、「お困りごと解決講座」が開催されました。講座では、助成金申請のポイントレクチャーや実際に助成金申請書を作成するワークショップなどが行なわれ、盛況のうちに終了しました。当センター通信をご覧になり出席された方も多く、非常に好評をいただきました。有難うございました。

ファシリテーター

養成講座☆中級編

11月22日(土)

10:00~17:00

受講者を募集!

※若干空きがあります。

■お申込は…
サポートセンター
電話:88-2988へ

市民活動フェスタ2008 in 松本

ヤングパワーで地域を変える!

— 出展団体を募集 —

とき:12月14日(日) 10:00~15:00

ところ:松本市総合社会福祉センター

サポートセンターの年に一度のお祭りがやってきました。サポセン登録団体の日頃の活動のようすを紹介するブース展示や、これから活動を始めようとする方の相談コーナーなど市民活動の情報がいっぱいです。福祉施設のパンやおやき、お菓子などを販売する模擬店、各種マーケットが並んだふれあい広場では、簡単な食事もできます。出展を希望する方はサポートセンターまでお問合せください。

今年のテーマは「ヤングパワーで地域を変える」・若者の社会参加の促進とNPO次世代の育成を目的とします。大学生や高校生ボランティアなど若者の社会貢献活動を紹介するパネル展示やステージ発表、学生実行委員が企画した討論会などを予定しています。

Close up

このコーナーでは、サポートセンターに登録されている市民団体の方々をご紹介させていただいています。今回、お話を伺ったのは「**松本BBS会**」と「**CAPかたつむり**」の両団体です。

松本BBS会

◇HP : <http://matubbs.hp.infoseek.co.jp/>
◇E-mail : matsu_bbs@infoseek.jp

BBSとはBig Brothers and Sisters Movementの略で、兄や姉のような立場で非行に走ってしまった少年少女の立ち直りを支援する活動を指す。この運動が戦後の混乱期にアメリカから日本に伝わって60年以上が経過している。松本BBS会の小松さんにお話をうかがった。

松本では比較的早く、昭和26年にBBS会の活動が始まった。貧困が理由で罪を犯してしまう戦災孤児への精神的サポートを念頭に創設されたそうだが、時代が移るに連れ、非行少年をとりまく社会環境は変化している。

松本BBS会は、保護観察処分を受けたり、少年院などの施設に暮らす少年達との交流を主な活動とする。松本地域で保護司等の依頼により、保護観察中の少年少女達と友人のような付き合いをする活動や、安曇野市で開放処遇を行なっている少年院・有明高原寮への訪問活動を続けている。一口に友人のように接すると言っても簡単なことではない。不安定な時期の真っ只中に居る少年

少女に、自然に接していくには努力も必要、と小松さん。あまり年齢が離れてしまった年代の人達では同じ目線で接する事ができない場合も多いのだとか。彼らが非行に走ってしまった原因として、家庭環境の悪さを考えていたが「最近は全く普通の家庭で家族間の人間関係に表面的な問題がないケースもある」と問題の複雑さを聞かせていただいた。

幸い松本地域では住民が会の活動に協力的で、これまでずっと支えられてきた、と小松さんは感謝の気持ちを隠さない。

いずれ次の世代を担う彼らが、何かの折に、自分の事を気にかけている人達がいたという事を思い出してくれればいいと言う。遠からずそんな日がやって来ることを願わずにはられない。



松本BBS会HP

CAPかたつむり

◇連絡先 TEL/FAX : 47-5908 (松本グループ 河西)
◇HP:<http://www.ina.janis.or.jp/~f-yuiko/index.html>

子どもにとっていじめ・虐待は極めて切実な問題で現在もまだ無くなったわけではない。CAP(キャップ)かたつむりは主に中南信の学校・公民館でワークショップ(参加体験型学習会)を実施し、子どもをいじめ・虐待等の日常の暴力から守る運動を展開している市民グループである。

CAPプログラムは1978年にアメリカで生まれ日本には1985年に伝わった。現在では全国に約150のグループがNPO法人センター・JAPANに登録されている。長野には約10年前に伝わり、CAPかたつむり創設へとつながっていく。

CAPかたつむりの高橋美保さんは、子どもが受ける暴力には様々な原因や背景があり、単に学校や親の管理責任あるいはいじめた側の責任だけを

問えば良い問題ではないと言われる。現象だけを捉えて「犯人探し」を重ねても根本的な問題解決にならない、当事者を含め全体の意識を変える必要があると説明していただいた。

これを「土壌の改善」と印象的に表現されていた。ワークショップは大人向けと子ども向けがあるが、後者は単独で開催しない。周囲の理解が必須の前提と考え、大人向けと同時に開催することをお願いしているからだ。

いじめを受けないことは自身の権利であることを知らない子どもが非常に多い、と高橋さんは続けられた。いじめに関しては、被害・加害双方の「心のケア」が必要。ところが「心のケア」は見落とされがちで、いじめを受けた子は自発的に周囲へ相談できないのだそうである。そこでワークショップでも子どもの話を聴く部分が大きなウェイトを占め、大人へは子ども達の声に耳を傾けるように働きかけることが重要になる。多い時はほぼ毎日ワークショップが開催されている。

現状の課題として、性暴力を話題にすることを避けたがる大人や、子どもの問題に悩んでいる家庭に、ぜひCAPを知ってほしい。子ども自身の自尊心を尊重すること、その取組みが社会を変えていくきっかけになればと意欲を失わない。



CAPかたつむりHP

※CAPとは、Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止)の意味です。

松本市ボランティアセンターから 一 ご案内

傾聴ボランティア講座（初級）受講者募集

あなたが心をこめて話を聴くこと（＝「傾聴」）で元気が出て、前向きになれる方がいます！

松本市社会福祉協議会 ボランティアセンターでは、下記の日程で傾聴ボランティア講座（初級）を開催します。「傾聴」の基礎を学びたい方や傾聴ボランティアに興味のある方はどうぞご参加ください。

	開催日時	講座内容
1	平成21年1月19日（月） 9:30～12:00	傾聴ボランティアとは
2	1月19日（月）13:30～16:00	聴くための実習（ロールプレイング）
3	1月26日（月） 9:30～12:00	//
4	1月26日（月）13:30～16:00	//

お申し込み 問い合わせ

松本市社会福祉協議会
ボランティアセンター
〒390-0833
松本市双葉4番16号
TEL 25-7311
FAX 27-2239

- 1 場 所 松本市総合社会福祉センター4階大会議室（松本市双葉4番16号 TEL25-3133）
- 2 参加費 1,000円（4回で）
- 3 受講資格 4回とも受講でき、受講終了後、傾聴ボランティアとして活動可能な方
- 4 定 員 36名（申込多数の場合は、初めての方を優先させていただきます。）
- 5 申込方法 松本市社会福祉協議会 ボランティアセンターに電話でお申し込みください。
- 6 申込締切 12月15日（月）

研修参加報告「これからの公共を考える」①

報告：市民生活課協働推進係 尾崎 順

今回、アメリカのNPOをテーマにした研修に参加する機会に恵まれました。この研修を通して個人的に感じたことなどや考えたことなどを、今号から数号にわたりお伝えできればと思います。

「公共」の担い手は誰？

日本とアメリカでは、「公共」の担い手の捉え方や市民の行政に対する意識（依存度や期待度）がまるで違う。

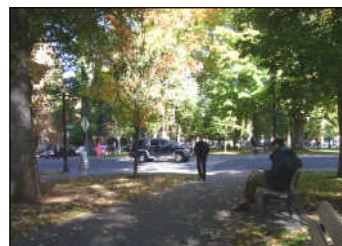
まずは日本。末端行政である市町村では、福祉をはじめ、市民の生活に関わるほとんどすべての業務を行なっているため、「公共＝行政」と考えている人が多いのではないかと。「行政がやって当たり前」、「行政がやるべきだ」という傾向が強いように思う。

アメリカはどうか？あきらかに「公共≠行政」である。公共の担い手の中心に居るのは行政ではなく、NPO（民間非営利団体）であり、様々な分野で公共の主な担い手となっている。その要因としては、大きな行政の日本と違い、アメリカは小さな行政であるため、福祉や民生面では行政が関与しておらず、住民自らが問題解決する必要があったことや、移民国家であるアメリカの歴史が影響し行政に依存しない社会が形成されているため、自分たちに身近なことは、NPOを立ち上げて対処していくなどの手法がとられることなどが考えられる。したがって、公共においてNPOが果たす役割は日本に比べ圧倒的に大きい。

では、日本においてNPOは公共の担い手になりえないのか？そんなことはない。すでに公共の担い手として活躍しているNPOも多く、NPOの果たす役割は年々大きなものになってきている。

最近の「協働」や「新しい公共」という考え方は“公共は行政だけが担うのではなく、NPOをはじめ、市民、企業等の事業者、行政が共に担っていく”というもので、日本においてもNPOが公共の担い手として認識され、期待されている証拠だ。特にこれからの地方分権時代においては、行政のみの力ですべてを成し得ることは不可能であり、それぞれが主体となって、または協働して公共を担っていかなければならない。市民も行政も「公共＝行政」から「公共＝市民＋NPO＋企業＋大学＋行政」へと意識を変え行動していく必要があると思う。

オレゴン州ポートランドでは、多くの公園がNPOとの協働により管理されている。



イベント情報等をお寄せください！

センター通信やホームページにて、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。
多くの皆さんからたくさんの情報をお待ちしています。



まつもと市民環境大学

いいまちづくり 2008 その2

松本市の都市開発を考える

- ◇日 時：11月28日（金） 午後6時～9時
- ◇場 所：Mウィング 3階 大会議室(3-2)
- ◇内 容：〈講演1〉
コンパクトシティ松本の過去・現在・未来
—人口分布と都市開発の視点から
〈講演2〉
松本市中心部および庄内地区のヒートアイラ
ンド調査の結果について
- ◇参加費：500円（資料代）
- ◇問合せ：まつもと市民環境大学
TEL：0263-36-7869（黒沼）

長野県犯罪被害者支援センター

講演会

通り魔犯罪によって孝行息子を亡くされ、やがて遺族会を設立することにより、**犯罪被害者給付制度**の制定に貢献された、**一ノ瀬朝一氏**の話。

犯罪被害者救済問題を追及した記録、**NHK スペシャル『愛と怒りと木下恵介』**を見ていただきながら、支援のあり方について講演をいただきます。

- ◇日 時：11月29日（土） 午後1時30分～
- ◇会 場：ホテルブエナビスタ松本 3F「グランデ」
- ◇講 師：飯島 尚幸さん
- ◇問合せ：NPO 法人 長野犯罪被害者支援センター
TEL：026-233-7848
FAX：026-233-7847

信州ハチドリねっと湧～く

テーマ『海外貧困問題が 私たちに問いただすもの』

知らなければならぬことが沢山あります。
一人でも多くの人に参加願えれば嬉しく思います。

- ◇日 時：11月30日（日） 午後1時～4時
- ◇場 所：松本市市民活動サポートセンター
- ◇講 師：原 郁雄さん
駒ヶ根市立赤穂東小学校教諭
- ◇参加費：300円（資料代）
- ◇問合せ：信州ハチドリねっと湧～く
TEL：0263-53-7231（望月）

親力アップ！講座

わが子を「のびる子供」に育てたい ～そのカギはママが握っています～

- ◇日 時：12月3日（水） 午前10時～11時30分
- ◇場 所：あがたの森文化会館（講堂）
- ◇対 象：乳幼児～小中学生の父母
- ◇保 育：要・予約
300円（保険料を含む）
〈保育申し込み方法〉
お子さんの名前、年齢をお知らせください。
定員になり次第締め切らせていただきます。
（先着30名）
- ◇講 師：岡本 裕子さん
- ◇問合せ：社団法人 スコーレ家庭教育振興協会
松本地区実行委員会
TEL：080-5410-0261（太田）
<http://www.schole.org>

サポートセンターからのお知らせ

松本市のマスコットキャラクター
アルちゃん大人気！！
土・日・祝日は…予約が殺到！

☆ご予約の際は、事前に当センターで着ぐるみの貸出状況を確認してからお申し込みください。
—早いもの勝ちですよ!!—



編集後記

当センターご利用の皆様、お待たせしました。
しばらくご不便をお掛けしておりました耐震補強
工事も一部が終了し、ようやく会議室も利用が再
開されました。

この工事は来年3月に終わりますが、私たちの
市民活動は、目標が達成されるまで終わりはありません。
これから厳しい冬が訪れます。年の瀬に
向け寒さにも負けず、せめて心だけでも熱く燃え
たいものです。皆様風邪など召さぬように！